

履歴書

24年 1月 30日現在



ふりがな の む り し ば み ほ		
氏 名		
野 村（旧姓芝） 美 穂		
出身地	年齢	※
岐阜	（満 31 歳）	男 ・ ②
参加した NICE ボランティア	分野	
国際ワークキャンプ、週末ワークキャンプ	国際交流、地域開発、環境	
場所	タイ ・ パヤオ 日本・浜松	満足度
（国・市町村まで記入）	ケニア・ミシヤニ	80%
受け入れ団体	NICE(日本国際ワークキャンプセンター) CIVIS(ケニア)、サンクチュアリ(浜松)	活動のやりがい度
		80%

こんなボランティアでした
タイ：農作業や日本についての授業を通して現地の生徒との交流
ケニア：マイクロファイナンス事業の普及を行う現地スタッフと農村をまわって現地住民の意識改革
浜松：1泊2日で受入団体の環境保護活動(海岸清掃、ウミガメの産卵調査等)の補助

年齢	経歴
18歳	浜松医科大学医学部看護学科入学、在学中に看護師および保健師の資格取得
20歳	国際ワークキャンプ(タイ)参加
21歳	国際ワークキャンプ(ケニア)参加
22歳	看護師として病院勤務（3年間）
23歳	浜松週末ワークキャンプリーダー（2年間）
25歳	青年海外協力隊参加（シリア、保健師、2年間）
28歳	岐阜・飛騨市役所就職、保健師として働く
趣味・特技	登山、アラビア習字
座右の銘	SYMPLE IS BEST
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
15歳	B&G青少年の船参加(グアム)
20歳	ハワイへ短期語学留学

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
国際ワークキャンプについては、青年海外協力隊が夢だったので、大学在学中に少しでも多くの海外経験を積んでおきたかった。協力隊OGの先輩に「気候も文化も違うアフリカに一度行くといい」と言われ、最後にケニアのワークキャンプを選んだ。
週末ワークキャンプは、社会人になって国際ワークキャンプの参加が難しくなったので、国内の週松ワークキャンプに参加するようになった。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
語学はNHKラジオの英会話講座で勉強した。
アフリカでは感染症が不安だったのでNICEのメーリングリストで情報収集したり、保健所に問い合わせたりして対応した。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した!）
家族は私の夢を知っていたので心配はしたが反対はしなかった。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
青年海外協力隊の試験を受けるにあたって、ワークキャンプの経験が役に立ったかといえは、正直、役には立たなかった。重要視されるのは実務経験の有無だったから。しかし、ワークキャンプの経験を経験することで「使える英語」が身についたと思う。
現在、私は仕事上でもプライベートでも、地域に住む外国人のお母さんと接する機会がある。そこで、「外国人」としてひとくくりにするのではなく、一人ひとりと向き合っていられるのは、ワークキャンプや協力隊時代にいろいろな国の人と一緒に過ごした時間があるからだと思っている。これからも「1対1」の視点を忘れずに在日外国人と関わっていきたい。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>あやふやでも、自信がなくても、とにかく声に出す。これが夢の実現の近道です。</p> <p>私も何度も「やっぱりやめよう」と思ったけど、その度に私の夢を知っている人が背中を押してくれました。</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）